

2026年度春学期入学

関西学院大学大学院経営戦略研究科入学試験

【博士課程先端マネジメント専攻】

専門論文（公共ガバナンス分野）

受験についての注意事項

1. 試験場においては、すべて監督者の指示に従ってください。
2. 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけません。
3. 問題用紙1部、解答用紙4枚が配付されます。
4. 机の上には筆記用具（黒鉛筆・シャープペンシル／消しゴム／鉛筆削り（電動式や大型のもの、ナイフは除く）、受験票、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、ストップウォッチ、大型のものは除く）、眼鏡、ルーペ、ハンカチ、袋または箱から取り出したティッシュペーパー、目薬、ラベルを剥がしたペットボトルのほかは置かないでください。それら以外の物はカバンに入れ、床の上に置いてください。
5. 筆記用具および時計は、計算機能や翻訳機能などを組み込んだ物の使用は認めません。時計のアラームは解除し、携帯電話等は電源を切ってください。
6. 試験中に試験用紙の印刷の不鮮明、ページの欠落、乱れおよび解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、監督者に申し出てください。
7. 監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に受験番号を正しく記入してください。
8. 解答はすべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙には問題番号を明記してください。
9. 不正行為をした場合、当該年度の入学試験のすべてを無効とします。
10. 監督者の開始合図と同時に試験を開始してください。
11. 監督者の終了合図と同時に解答をやめてください。
12. 問題用紙は試験終了後、持ち帰ってください。

【問題】

公共サービス提供組織における連携の具体例を一つ例示し、ガバナンスの必要性について論じなさい。

経営戦略研究科博士課程後期課程入学試験

2026年度春学期（2026年4月）入学 出題の意図、採点基準、解答例

試験科目：専門論文（公共ガバナンス）

●出題の意図

公共ガバナンスの具体的な必要性を、公共サービス提供組織相互間の連携を具体的な事例として取り上げて、論述を求めた出題である。公共ガバナンスの研究対象は広範に及ぶことから、特定の受験生に有利不利が生じないように、最も基本的な問題が出題されている。

●採点基準

①具体的な事例が紹介されていること。②事例で紹介されている公共サービス提供組織の具体的な連携が、説明されているか。③連携の必要性を財源・人材・施設の共有共用利用等の視点で説明できているか。④連携に必要な資源をそのように統治するのかに関するガバナンスの視点からの記述があれば、特に優れたものとして評価する。

●解答例

採点基準に照らして以下のような解答のポイントを想定する。①医療サービス、保育サービス、消防・救急サービス、介護サービス、上下水道事業など。②官と民の観点から連携する組織、あるいは、官々連携の事例が紹介されていること。③地域医療を例にとれば、例えば、病診連携や退院後のかかりつけ医との連携などが紹介されていること。④法的な観点からのガバナンスだけでなく、公共サービスの利用者の視点からのガバナンスに関する記述があれば、さらに望ましい。